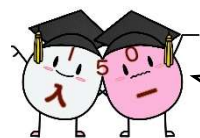


## 研究主題

こどもを中心としたカリキュラム・マネジメント  
～自由進度学習の可能性を探る～

## マイプラン・タイム（2教科2単元）

### 第5学年 社会科・理科学習指導案



本校では単元内自由進度学習を  
『マイプラン・タイム』と呼んで  
いるよ。

学習期間：令和7年11月7日（金）～11月28日（金）

対 象：5年102名（特別支援学級含む）

場 所：5年生教室・児童会室・理科室AB

授業者：浅野晃史 榎英子 今井政之

1 単元名 **社会科**「水産業のさかんな地域」（新しい社会5 東京書籍）（7時間）

**理科**「物のとけ方」（新しい理科5 東京書籍）（14時間）

## 2 単元の目標

### **社会科**

我が国の水産業について、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、地図や各種の資料で調べ、まとめることで、水産業に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え表現する。それらの活動を通して、我が国の水産業に関わる人々が、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして、良質な水産物を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

### **理科**

物が水に溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら、物の溶け方の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説をもとに、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

## 3 単元の評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
社会科	水産業の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、水産業に関わる人々の工夫や努力を理解している。	水産業の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、問いを見だし、水産業に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。	我が国の水産業の様子について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
理科	物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないこと、物が水に溶ける量には、限度があること、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを、また、この	物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	進んで実験や観察を行い、その中で、自分の考えを振り返りながら、粘り強く考え、問題解決しようとしている。日常生活の中の「溶ける」現象に興味をもち、それについて調べたり、学習を広げ

<p>性質を利用して、溶けている物を取り出すことができることを理解している。物の溶け方について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。</p>		<p>たり深めたりしようしている。</p>
--	--	-----------------------

#### 4 指導観

##### (1) 単元観

**社会科** 本単元で扱う内容は、小学校学習指導要領（平成 29 年告示）において、以下のように位置付けられている。

社会〔第 5 学年〕 2 内容

(2) 我が国の農業や水産業における食料生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること。

(イ) 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解すること。

(ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

(イ) 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

本単元では、日本の水産業のさかんな地域を取り上げ、漁業がどのように行われているのか、また、どのような自然条件や工夫によって支えられているのかを学ぶ。児童は、漁業が地域の自然や気候、海の特性と深く関係していること、そして人々のくらしや日本の食文化を支えている産業であることに気付いていく。さらに、近年の水産業が抱える課題（魚の減少、漁業従事者の高齢化、環境問題など）や、それに対して地域や国がどのような取組を行っているのかにも触れ、持続可能な水産業について考える視点を育てていく。このような学びを通して、児童は水産業に関わる人々の努力や工夫に目を向け、地域資源を活かす日本の産業の姿を具体的に理解し、社会の一員としての関心や態度を育めるようにする。

特に、児童が身近な問題として捉え、学習に取り組むことができるよう、水産業に携わる人に直接話を聞く機会を設けたり、漁業の道具を触ることができるようにしたりする。

**理科** 本単元で扱う内容は、小学校学習指導要領（平成29年告示）において、以下のように位置付けられている。

理科〔第5学年〕 2 内容

A 物質・エネルギー

(1) 物の溶け方

物の溶け方について、溶けるようや様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。

(ア) 物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないこと。

(イ) 物が水に溶ける量には限度があること。

(ウ) 物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと。また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができること。

イ 物の溶け方について追究する中で、物の溶け方の規則性についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。

本単元では、身の回りにある「溶ける」という現象に着目し、水に物が溶けるとはどういうことか、また、どのような条件でその様子が変わるかを探究していくことを通して、科学的な見方・考え方を育てることを目的としている。児童は、食塩やミョウバン、砂糖などの身近な物質を使って、溶解の様子を観察・実験し、物質が目に見えなくなっても水の中に均等に広がって存在していること、また、水の温度やかき混ぜ方などの条件によって溶ける量や速さが変わること気付かせる。これにより、自然現象を数量的・論理的に捉える力を育てていく。

(2) 児童観

自由進度学習（以下、マイプラン・タイム）の学習について意識調査を行ったところ、「マイプラン・タイムの学習にはすすんで取り組みたいですか。」というアンケートに対して9割以上の児童が「とても思う」「そう思う」と肯定的な回答をした。そう回答した児童の中で、「そう思った理由は何ですか。」という問いに対して、「自分のペースで学習が進められるから」と回答した児童は81.5%だった。

同様の質問に対して「全く思わない」「思わない」と否定的な回答をした児童の中で、「そう思った理由は何ですか。」というアンケートに対して、「みんなと同じペースで学習を進めたいから」「自分の学習計画の計画を立てるのが苦手だから」「先生が教えてくれる時間が少ないから」と回答している児童が50%であった。上記の理由を挙げた個々の児童の実態を見てみると、「自己肯定感の低さ」や「自分の思いや考えを表現すること」、「文章の読み取り」に課題がある児童であった。

全体への「マイプラン・タイムで困ったことは何ですか」という質問に対しては、「計画がずれたときの修正」や「一人で学習を進めること」という回答が4割を超えていた。また、「自分に合った学習方法が見付かっていますか」という質問に対して「見付かっている」と回答した児童は7割にとどまった。このことから、マイプラン・タイムの学習に対して肯定的に取り組んでいる児童の中にも、まだ自分の学び方を模索している児童がいることが分かった。高学年が目指す児童像として、児童一人一人が「自分に最適な学び」を選択できるよう、本研究において、「教師のファシリテーションの役割の明確化」や「どの児童にもわかりやすい学習シート・学習環境づくり」を重点とし、児童の自走を促していく。教師が個々の学びに適切な助言をしたり価値付けをしたりすることで、児童は安心して学習を進めることができたり自分に合った学び方を探ったりすることができる。児童にも教師の役割を伝え、どの児童も安心して学びに向かうことができるようにする。

社会科

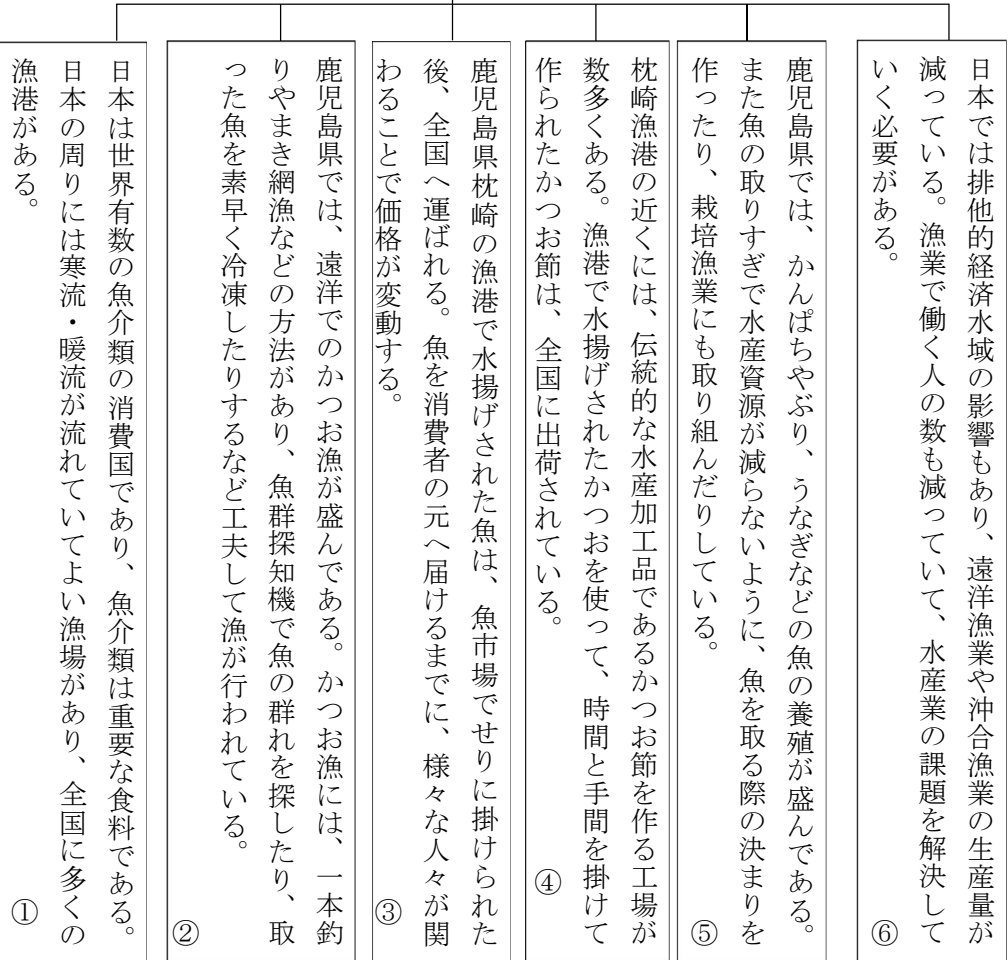
□ 知識の構造図 水産業のさかんな地域

中心概念  
(概念的知識)

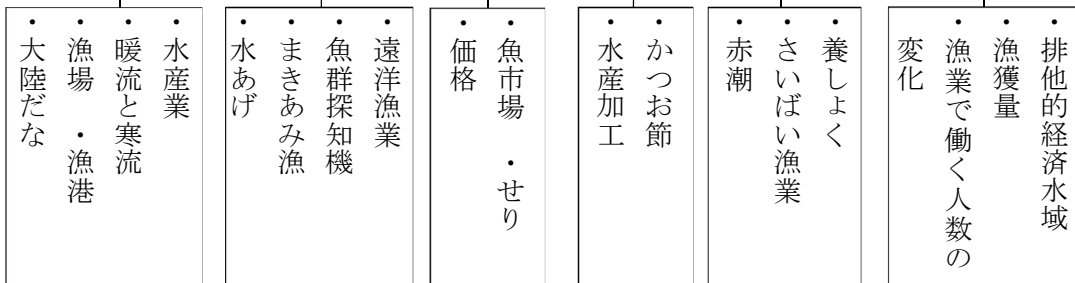
我が国の水産業は、自然条件を生かして営まれており、水産業に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えている。

まとめる

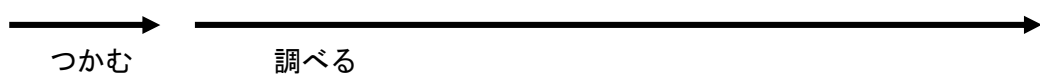
社会的事象  
(具体的知識)



用語・語句



問題解決的な  
学習の過程



3年「ものの重さ」

- ・物は、形が変わっても重さは変わらないこと。
- ・物は、体積が同じでも重さは違うことがあること。

4年「もののあたため方・水のあたため方」

- ・水は、温度によって水蒸気や氷に変わる。また、水が氷になると体積が増えること。
- ・水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくこと。また、空気中の水蒸気は結露して再び水になって現れることがあること。

5年「物の溶け方」

- ・物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないこと。
- ・物が水に溶ける量には、限度があること。
- ・物が水に溶ける量は、水の温度や量、溶けるものによって違うこと。また、この性質を利用して、溶けているものを取り出すことができること。



6年「水よう液の性質」

- ・水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあること。
- ・水溶液には、気体がとけているものがあること。
- ・水溶液には、金属を変化させるものがあること。

## 6 目指す児童像に迫るための手だて

### 高学年分科会 目指す児童像

自分に最適な学びを計画・実行できる児童

#### (1) 環境・教材の工夫

ア 正しく道具を扱い、安全に実験を行うことができるようになるための工夫

【理科】正しい実験操作を意識させるために、実験動画を用意する。自分で二次元コードを読ませると、タブレットを開くという動作を面倒に感じて確認せずに進んでしまうことが考えられるので、必ず見させたいものは常時見られるようにしたり、学習シートに動画を見ることを促す工夫をしたりする。

イ 一人一人の児童が安心して学習に取り組めるための工夫

【社会】写真や動画などの資料だけではなく実物を用意することで、これまでの生活経験の差を埋めたり多様な学び方に対応したりすることができ、児童それぞれが考える機会につなげる。そうすることで、自力解決できる喜びを感じ自己肯定感を高めたり、自分に合った学び方を見付けたりすることができると思った。

【共通】教師の役割（ファシリテーション）を細分化し、一人で学びを進めることに不安のある児童に寄り添う「相談役」、自走している児童の学びを見取り価値付けをする「価値付け役」となり、どの児童も安心して自分の学びを計画・実行できる環境づくりをする。

#### (2) 日常生活との関連を考えながら学びを深化させるため学習過程の工夫

【共通】単元の終末の発展課題（パワーアップミッション）に児童の身近な題材を選んで設定することで、学習内容を日常生活と関連させて考え、学びを深める経験につなげたい。また、多様なパワーアップミッションを設定することで、児童がそれぞれの関心に合わせて計画を立てることができると思った。

時		1	2 ～ 6	7																																																		
形態		一斉	個別	一斉																																																		
目標		・水産業や水産加工品に関心をもち、学習問題を 確認し、学習計画を立てることができる。	・水産業について、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、進んで地図や各種の資料を調べ、まとめることで、水産業に関わる人々の工夫や努力を捉える。水産業に関わる人々が生産性や品質を高める努力や、輸送及び販売方法の工夫について、主体的に学習問題を追及・解決する。	・水産業について理解し、友達が調べた発表を聞きながら、日常生活における活用との関連を考える。																																																		
学習の流れ		1 かつおぶし、つなのシルエットクイズをする。	1 自分の計画を確認する。	1 マイプラン・タイムで学んだことを発表し合い、感想を伝える。																																																		
		2 けずり節体験をする。 けずり節の試食をする。	2 マイプラン・タイム	2 学習問題に対するあたたかい土地・さむい土地のくらしについて、全体で確認する。																																																		
		3 水産加工品が何かを知る。	<div>学習マップ</div> <div>水産業のさかんな地域</div> <table><tr><th></th><th>ミッション名</th><th>内容</th><th>ヒント</th><th>場所</th><th>完了</th></tr><tr><td>みんなで</td><td>0</td><td>〇ツナ缶・かつおぶしから水産加工品を知り、水産業について考えよう。</td><td>P.94 95</td><td>教室</td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="5">ひとりで</td><td>漁(りょう)</td><td>〇水産業にかかわる人々はどのようにして魚をとっているのでしょうか</td><td>P.96 97</td><td>English ルーム</td><td></td></tr><tr><td>枕先漁港 (まくらざきぎょう)</td><td>〇漁港に水あげされた魚は、どのようにしてわたしたちの食卓へとどくのでしょうか</td><td>P.98 99</td><td>児童会室</td><td></td></tr><tr><td>水産加工品 (すいさんかこうひん)</td><td>〇漁港の周辺では、どのようにして水産加工品(かつおぶし・かまぼこ)がつくられているのでしょうか。</td><td>P.100 101</td><td>English ルーム</td><td></td></tr><tr><td>養殖(ようしょく)</td><td>〇つくり育てる漁業は、どのように行われているのでしょうか</td><td>P.102 103</td><td>5－2教室</td><td></td></tr><tr><td>ミライ</td><td>〇日本の水産業には、どのような課題があるのでしょうか。 ・水産輸送業 ・北海道の漁師 ・加工品工場</td><td>P.104 105</td><td>5－1教室</td><td></td></tr><tr><td colspan="3">★チェックテスト・学習問題に対しての自分の考え(ノート・タブレット(スライド)など・漫画・イラスト)</td><td></td><td>各教室</td><td></td></tr><tr><td>協力 個人または</td><td>パワー アップ</td><td colspan="2">〇日本でとれる魚？ とれない魚？ 〇チリモンスターを探せ！ 〇漁旗は今も使われている？ミニ大漁旗づくり！ 〇給食に水産物を提案し隊！ 〇漁師さんのなやみ解決し隊！ 〇かまぼこを作り隊！ 〇かずの子・ところてん・シラスはどうやって作られている？水産加工品博士！</td><td colspan="2">5－3教室</td></tr></table>		ミッション名	内容	ヒント	場所	完了	みんなで	0	〇ツナ缶・かつおぶしから水産加工品を知り、水産業について考えよう。	P.94 95	教室	○	ひとりで	漁(りょう)	〇水産業にかかわる人々はどのようにして魚をとっているのでしょうか	P.96 97	English ルーム		枕先漁港 (まくらざきぎょう)	〇漁港に水あげされた魚は、どのようにしてわたしたちの食卓へとどくのでしょうか	P.98 99	児童会室		水産加工品 (すいさんかこうひん)	〇漁港の周辺では、どのようにして水産加工品(かつおぶし・かまぼこ)がつくられているのでしょうか。	P.100 101	English ルーム		養殖(ようしょく)	〇つくり育てる漁業は、どのように行われているのでしょうか	P.102 103	5－2教室		ミライ	〇日本の水産業には、どのような課題があるのでしょうか。 ・水産輸送業 ・北海道の漁師 ・加工品工場	P.104 105	5－1教室		★チェックテスト・学習問題に対しての自分の考え(ノート・タブレット(スライド)など・漫画・イラスト)				各教室		協力 個人または	パワー アップ	〇日本でとれる魚？ とれない魚？ 〇チリモンスターを探せ！ 〇漁旗は今も使われている？ミニ大漁旗づくり！ 〇給食に水産物を提案し隊！ 〇漁師さんのなやみ解決し隊！ 〇かまぼこを作り隊！ 〇かずの子・ところてん・シラスはどうやって作られている？水産加工品博士！		5－3教室		3 単元全体の学習を振り返り、マイプラン・シートに記入する。
		ミッション名		内容	ヒント	場所	完了																																															
	みんなで	0		〇ツナ缶・かつおぶしから水産加工品を知り、水産業について考えよう。	P.94 95	教室	○																																															
	ひとりで	漁(りょう)		〇水産業にかかわる人々はどのようにして魚をとっているのでしょうか	P.96 97	English ルーム																																																
枕先漁港 (まくらざきぎょう)		〇漁港に水あげされた魚は、どのようにしてわたしたちの食卓へとどくのでしょうか	P.98 99	児童会室																																																		
水産加工品 (すいさんかこうひん)		〇漁港の周辺では、どのようにして水産加工品(かつおぶし・かまぼこ)がつくられているのでしょうか。	P.100 101	English ルーム																																																		
養殖(ようしょく)		〇つくり育てる漁業は、どのように行われているのでしょうか	P.102 103	5－2教室																																																		
ミライ		〇日本の水産業には、どのような課題があるのでしょうか。 ・水産輸送業 ・北海道の漁師 ・加工品工場	P.104 105	5－1教室																																																		
★チェックテスト・学習問題に対しての自分の考え(ノート・タブレット(スライド)など・漫画・イラスト)				各教室																																																		
協力 個人または	パワー アップ	〇日本でとれる魚？ とれない魚？ 〇チリモンスターを探せ！ 〇漁旗は今も使われている？ミニ大漁旗づくり！ 〇給食に水産物を提案し隊！ 〇漁師さんのなやみ解決し隊！ 〇かまぼこを作り隊！ 〇かずの子・ところてん・シラスはどうやって作られている？水産加工品博士！		5－3教室																																																		
	5 場や教材の使い方を理解する。	3 今日の学習を振り返り、マイプラン・シートに記入する。																																																				
	6 自分の学習計画を立てる。																																																					
評価規準 評価の方法	ア		・水産業の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送価格や費用などについて、地図帳や各種の資料で調べて必要な情報を集め、読み取り、水産業に関わる人々の工夫や努力を理解している。(学習シート) ・調べたことを図表や文などにまとめ、我が国の水産業に関わる人々が生産性や品質を高める努力をしたり、輸送や販売方法を工夫したりして、良質な水産物を消費者に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。(学習シート)																																																			
	イ		・水産業の生産工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、問いを見いだし、水産業に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。(学習シート) ・水産業の仕事の工夫や努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて水産業に関わる人々の働きを考えたり、水産業の現状を踏まえて、水産業の抱える課題を見いだしたりするとともに、これからの水産業の発展において大切なことについて、自らの考えを適切に表現している。(学習シート)	・																																																		
	ウ	・水産業の盛んな地域や水産加工品の試食から学習問題を設定し、学習計画を立て、問題解決の見通しをもっている。(学習シート)	・水産業について調べる活動にすすんで取り組み、問題解決しようとしている。(観察)	・水産業について調べて学んだことや友達の発表を聞いて学習や生活に生かそうとしている。 (観察)																																																		



時		1	2 ～ 13		14																																													
形態		一斉	個別		一斉																																													
目標		・物が水にとける現象に関心をもち、学習問題を確認し、学習計画を立てることができる。	・物が水にとける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら、物のとけ方の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育む。		・物のとけ方の規則性について理解し、友達が調べた発表を聞きながら、日常生活における活用との関連を考える。																																													
学習の流れ		1 シュリーレン現象を観察する。  2 とけた物は水の中にあることを確認する実験をする。  3 物が水に「とける」とは何かを知る。  4 学習問題を確認する。  5 場や教材の使い方を理解する。  6 自分の学習計画を立てる。	<div>1 挨拶をする。 2 自分の計画を確認する。 3 マイプラン・タイム</div> <div><div>学習マップ</div><div>物のとけ方</div><table><tr><td></td><td>ミッション名</td><td>内容</td><td>ヒント</td><td>場所</td><td>完了</td></tr><tr><td>みんな</td><td>溶けたもののゆくえ</td><td>○水にとけて見えなくなった物は、どうなったのだろうか。</td><td>教p.96-98</td><td>理科室A</td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="4">ひとり</td><td>限界に挑戦！</td><td>○物が水にとける量は物によってちがいがあのだろうか。</td><td>教p.101-103</td><td>理科室B</td><td></td></tr><tr><td>水の量を変えたら？</td><td>○水の量によって物のとける量は変わるのだろうか。</td><td>教p.104-107</td><td>理科室B</td><td></td></tr><tr><td>水の温度を変えたら？</td><td>○水の温度によって物のとける量は変わるのだろうか。</td><td>教p.104-107</td><td>理科室A</td><td></td></tr><tr><td>一度とけた物をとり出そう</td><td>○水にとけた物は、どのようにすればとり出すことができるのだろうか。</td><td>教p.108-110</td><td>理科室A</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">★確認プリント→自分で答え合わせ</td><td></td><td></td><td>個人ブース</td><td></td></tr><tr><td>パワーアップ</td><td colspan="2">○とけるもののランキング ○宝石選手権 ○一番おいしいレモネード屋さんはだれだ？ ○トイレットペーパーは本当に「とける」？ ○スノードーム ○自主研究</td><td></td><td>サイエンスワールド</td><td></td></tr></table></div> <div>4.今日の学習を振り返り、マイプラン・シートに記入する。</div>			ミッション名	内容	ヒント	場所	完了	みんな	溶けたもののゆくえ	○水にとけて見えなくなった物は、どうなったのだろうか。	教p.96-98	理科室A	○	ひとり	限界に挑戦！	○物が水にとける量は物によってちがいがあのだろうか。	教p.101-103	理科室B		水の量を変えたら？	○水の量によって物のとける量は変わるのだろうか。	教p.104-107	理科室B		水の温度を変えたら？	○水の温度によって物のとける量は変わるのだろうか。	教p.104-107	理科室A		一度とけた物をとり出そう	○水にとけた物は、どのようにすればとり出すことができるのだろうか。	教p.108-110	理科室A		★確認プリント→自分で答え合わせ				個人ブース		パワーアップ	○とけるもののランキング ○宝石選手権 ○一番おいしいレモネード屋さんはだれだ？ ○トイレットペーパーは本当に「とける」？ ○スノードーム ○自主研究			サイエンスワールド		1 マイプラン・タイムで学んだことを発表し合い、感想を伝える。  2 単元全体の学習のまとめを全体で確認する。  3 単元全体の学習を振り返り、マイプラン・シートに記入する。
		ミッション名	内容	ヒント	場所	完了																																												
みんな	溶けたもののゆくえ	○水にとけて見えなくなった物は、どうなったのだろうか。	教p.96-98	理科室A	○																																													
ひとり	限界に挑戦！	○物が水にとける量は物によってちがいがあのだろうか。	教p.101-103	理科室B																																														
	水の量を変えたら？	○水の量によって物のとける量は変わるのだろうか。	教p.104-107	理科室B																																														
	水の温度を変えたら？	○水の温度によって物のとける量は変わるのだろうか。	教p.104-107	理科室A																																														
	一度とけた物をとり出そう	○水にとけた物は、どのようにすればとり出すことができるのだろうか。	教p.108-110	理科室A																																														
★確認プリント→自分で答え合わせ				個人ブース																																														
パワーアップ	○とけるもののランキング ○宝石選手権 ○一番おいしいレモネード屋さんはだれだ？ ○トイレットペーパーは本当に「とける」？ ○スノードーム ○自主研究			サイエンスワールド																																														
評価規準 評価の方法	ア	・物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないことを理解している。(学習シート)	・物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないこと、物が水に溶ける量には、限度があること、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを、また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができることを理解している。(学習シート)  ・物の溶け方について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。(学習シート)																																															
	イ		・物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。(学習シート)																																															
	ウ	・物が水に溶ける現象やとけ方に関心をもち、物の溶け方について工夫して考えようとしている。 (観察、マイプラン・シート)	・進んで実験や観察を行い、その中で、自分の考えを振り返りながら、粘り強く考え、問題解決しようとしている。 (観察、マイプラン・シート)  ・日常生活の中の「とける」現象に興味をもち、それについて調べたり、学習を広げたりしようしている。 (観察、マイプラン・シート)		・調べて学んだことや友達の発表を聞いて学習や生活に生かそうとしている。(観察、マイプラン・シート)																																													